

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
2	6款1項4目 農業振興費	210-124-1 6次産業化加工・直売推進事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 <small>・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か</small>	20	小さな農地で少量多種の作物を生産する町にとって、町産の作物を活用した特産品の開発、加工、販売を推し進めることは、農産物の生産拡大と農業所得の向上なども含め町全体の経済活性化に必要な取り組みである。
2 妥当性 <small>・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か</small>	18	個人または中小規模の事業者がほとんどであり、それぞれの企業努力はもちろん町ぐるみで販路拡大などに取り組むことで、意欲ある事業者を育成し、町全体の経済活性化につなげることができる。
3 効率性 <small>・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か</small>	14	町内の事業者や関係団体と町が連携して取り組んでいるが、町に頼りすぎることのないよう事業者の意欲をさらに高め、一定の競争力が働くような仕組みも必要ではないか。その意味では、町民に特産品をよく知ってもらうための方策も望まれる。
4 成果 <small>・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか</small>	17	販路の拡大や町の支援件数を実績として「成果があがっている」と自己評価しているが、本当の成果は、この取り組みによって各事業者がどれだけ利益をあげ、特産品などがどれだけ全国に広がったかという実績ではないのか。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	69
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	6次産業を推進する上で、農産物の加工、販売に町の支援は不可欠であり、今後も継続して対策を講じる必要性はある。ただし、この取り組みにより各事業者の意欲を高め、連携のあり方なども考えていかなければならない。そのためには生産額や販売額の実績などをきちんと捉えて現状を分析する必要がある。以上のことから「改善し継続する」と評価する。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
町の基幹産業である農業を守る上で、農産物の活用と特産品の販路拡大は農業の担い手の育成とともに推進しなければならない取り組みである。首都圏などでのPRコストが過重な負担になるのであれば、例えば贈答品として町民から選ばれたり、ふるさと納税の返礼品として町外の方々から選ばれたりするような魅力ある商品の開発など、アイデアを生かした事業展開をしていく必要がある。そのためには、事業者など関係者間の連携をより密にしながら、それぞれがきちんと考えることの大切さを認識すべきではないか。